

指定管理者制度導入施設の管理運営実績について(令和元年度)

調査表

施設名	県立阿波岐原森林公園
指定管理者	マリンパークス
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日(5年間)
県所管部課	県土整備部 都市計画課 美しい宮崎づくり推進室

1 施設利用状況

指標	R1	H30	H29	増減理由等
阿波岐原森林公園 (単位:人)	57,854	53,908	53,767	新型コロナウイルス感染症対策で他の屋内施設等が相次いで臨時休館になった影響で散歩目的などで利用者が増加したと考えられる。
コメント	地域との連携を十分に図りながら特性を生かしたイベントなどを実施している。引き続き、利用者増加に繋がる幅広い事業の展開が期待される。			

2 施設収支状況

(単位:千円)

収入	R1	H30	H29	支出	R1	H30	H29
指定管理料	54,806	53,516	55,182	人件費	31,508	30,469	30,082
自主事業等	1,805	1,224	986	需要費・役務費	9,294	12,718	11,077
				委託料・使用料等	4,521	3,714	1,449
				経費	7,133	6,569	10,527
				自主事業支出	1,425	718	683
合計(①)	56,610	54,740	56,168	合計(②)	53,881	54,188	53,818
収支差額(①-②)	2,729	552	2,350				
コメント	パトロールと清掃の同時進行や大型機械での作業を行うことで作業の効率化を図った。また気象状況等を考慮し毎日の監視結果を踏まえ随時工程を見直しながら効率的及び効果的な維持管理を行った。						

3 管理運営状況

※下線部分は、令和元年度に新たに取り組んだ内容

事項	実施内容	
維持管理業務	清掃	園内清掃、トイレ清掃、照明器具清掃
	保守・点検	照明点検(週1回)、浄化槽点検(月1回)、排水設備点検(随時)、冠水持の通行規制等
	警備	巡回パトロール(毎日1回)、管理事務所夜間機械警備
	修繕	外灯、地下散水栓取替、トイレ、浄化槽、四阿、ウッドデッキ、ドッグラン扉等
	備品等管理	適正な利用・保守管理
	安全対策	安全管理会議(月1回)、危機管理体制マニュアルの整備(冠水、火災、地震、津波)、津波避難誘導訓練
	その他	植栽管理業務(樹木・芝・花壇等)、施設維持管理業務(園路・トイレ・駐車場他)
企画運営業務	サービス提供体制整備	ドッグラン、レンタサイクル、レンタルハンモック貸出、各種マップ(公園周辺ガイドマップ、阿波岐原散策マップ、神話マップ、春のーっ葉神話と花めぐりマップ)の作成・配布、パンフレット(「公園で遊ぶルール」、「パークガイド」)作成・配布
	イベント等ソフト面充実	花の無料配布、犬・猫の譲渡会、親子工作教室、サイクリング探検、市民サイクリング大会、サイクリングでふるさと発見、入り江観察会、寄せ植え教室、ガーデニング講習会、阿波岐原を再発見、HP作成・更新
	施設設備等ハード面充実	ドッグラン施設の増設、安全に子供が遊べる冒険広場の整備(木材チップ利用)、レンタサイクル設置、番号付き案内板の設置、公園管理事務所への無料Wi-Fi設置、津波避難誘導板の設置
	その他	憶地域まちづくり推進委員会の環境保全活動(干潟の保全、コアジサシ営巣活動)に参加、地域と協働して地域を花で飾る「春のーっ葉神話と花めぐり」の実施
管理運営体制	職員技能講習開催、施設・植物管理技術資格取得講座受講、行政出前講座(個人情報保護、地球温暖化対策)受講	
コメント	子どもたちが遊びながらゴミの分別や環境美化を学べる「クリーン大作戦」など子どもを対象としたイベントや、年齢を問わず参加可能な花飾り講習会やレンタサイクルなどのイベントを開催するなど、利用者の増加に努めている。また、毎日のパトロールで利用者の安全確保に努めた。	

4 利用者満足度状況(利用者満足度調査、苦情・要望対応)

調査等方法	来園者アンケート調査等
調査結果、主な苦情・要望内容	その対応結果等
バイクの進入や犬の放し飼いを止めさせてほしい。	巡回により注意・指導を強化した。

5 総合評価

評価コメント	森林公園の特性を生かしたイベントなどに積極的に取り組んでいる。また、必要な管理運営体制のもと、適正な管理運営が行われている。
今後の課題と対応	周辺の施設(フェニックスリゾート社、フローランテ宮崎など)と連携した更なる事業の推進が求められる。